



【号外】『連合青森東青地協2020春季生活闘争決起集会』開催を中止！！

去る2月26日(水)に開催した連合青森第3回三役会議において、新型コロナウイルスへの対応として論議した結果、組合員の安全と不安を払拭することが大前提であることを確認し、3月7日に予定の連合青森2020春季生活闘争総決起集会を「中止」する判断となりました。

これを受け、東青地協は、3月6日(金)に予定の東青地協2020春季生活闘争決起集会を検討のうえ「中止」する判断をし、代替策として地協ニュースにて対応する事といたしました。

つきましては、本ニュースにて、予定しておりました東青地協の方針、並びに、各産別の決意表明を記載いたしますので、本春季生活闘争への決意としてお読みくださいますようお願い申し上げます。

【主催者挨拶】(東青地協 議長 佐藤 良浩)

連合青森東青地協は、2020春季生活闘争を闘うにあたり、2月6日に第1回地協闘争委員会を開催し、闘うための連帯と団結の場として「2020春季生活闘争決起集会」を開催することで準備を進めてきました。

しかし、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、健康と安全を最優先に、集会の開催を中止することとしましたが、引き続き中小企業・非正規労働者も含め、すべての働くものの処遇改善のため、全体で生み出した付加価値の適正配分をもとめ、総合生活改善闘争の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争としなければなりません。

これからも、地協闘争委員会を中心に、連合青森の方針に基づき、連合青森地場労組対策委員会とも連携しながら、地協加盟の全ての組合が要求書を提出し、妥結まで「全員参加体制」の活動を進めていきます。

【東青地協2020春季生活闘争の取り組み】

連合青森東青地域協議会は、第1回闘争委員会(2.6)に開催し、地協闘争委員会を中心に、連合青森の方針に基づき、連合青森地場労組対策委員会とも連携しながら、以下の項目を重点に全力で取り組むことを確認しております。

■ 賃上げ要求目標

①賃金カーブの算定が困難な場合(定昇制度が確立していない場合) **11,000円程度(5.0%程度)**

【賃金カーブの維持確保相当分4,100円+4,600円程度(賃上げ分)+2,300円(格差是正分)】

②賃金カーブの算定が可能な場合 【賃金カーブの維持+4,600円程度(賃上げ分)+2,300円(格差是正分)】

■規模間格差の是正(中小の賃上げ要求) ■雇用形態間格差の是正(時間給の引き上げ) ■男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正

■「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し ■ジェンダー平等・多様性の推進 ■地協加盟組合の全ての組合が要求書を提出

■妥結まで「全員参加体制」の活動推進



【産別決意表明】

■自治労(平内町職員労働組合執行委員長:木村秀樹)

私たち自治労は、2月27日に第97回中央委員会を開催し、2020春闘勝利と当面する課題に取り組むための方針を決定しました。

自治労では、「1年のたたかいは春闘から」と位置づけ、2020春闘については、2019確定期の積み残し課題を含む、あらゆる課題解決に向けた取り組みをすすめます。まずは、運動の原点が単組運動にあることから、実態把握に重点を置き、日常的な関わりの中から課題の解決に取り組む、組合員一人ひとりが活動に参画する中から、運動の活性化につなげていきます。また、組合員の声や職場の実態を要求の根拠としながら、すべての単組で要求書の提出・交渉の徹底をはかります。そして、組織強化・拡大にむけて、4月に迎える新規採用者をはじめ、組合未加入者、再任用職員、会計年度任用職員に対する職場での声掛け等に取り組む、組合員化に向けた運動を強化していきます。

最後に、今春闘の結果が秋の人事委員会勧告へ影響することから、連合に結集し、すべての労働者の「底上げ」・「底支え」・「格差是正」をめざし、官民一体となったたたかいを強化していきます。以上、決意表明とさせていただきます。連合東青地協に結集する仲間の皆さん、ともに頑張りましょう。

■JR総連(JR東労組青森支部執行委員:小川卓也)

2020JR総連春闘は、賃金の大幅引き上げと労働条件の向上をかちとる春闘にしなければならないと考えています。その実現に向けて、JR総連・労連加盟単組の統一闘争を展開することとします。そして「統一ベア要求」を掲げ、具体的にはベア¥6,000(非正規雇用・エルダー社員の基本賃金も同様)をかち取るたたかいを創り出していきます。今日はコロナウイルスの影響で大幅な経済損失が発生し閉塞感さえ漂っています。そのようなことから春闘総決起集会も中止せざるを得ない状況です。われわれは春闘総決起集会を通じて「春闘とは何か?」組合員と捉え返すことと、職場の組織力で春闘の具体的な妥結額が決定することを自覚し、本部交渉団を支えてきました。われわれ労働者は弱い存在である以上労働組合に結集し、お互いが手を取り合っていかなければなりません。春闘の話題がマスコミ等で報道されず、春闘そのものが世の中から忘れ去られそうな状況ではありますが、労働組合の分断・破壊を許さず、JR総連の旗の下にすべての力を結集し、統一要求・統一闘争をたたかい抜いていきます。

しかし、われわれだけではなく各産別が手を取り合い、お互いを刺激し合いながら賃上げのたたかいを創り出していかなければなりません。連合に結集する仲間のみなさん!20春闘勝利に向けて共にたたかきましょう!